

# 高知憲法速報

No.228 2010. 6. 7

発行:高知憲法会議事務局 088-872-3406

編集人 事務局 徳弘嘉孝

## 今年各地の憲法集会—憲法しんぶん 457号より—

各地の憲法記念集会の概要について「憲法しんぶん」の記事をもとに紹介します

東京(3日); 田中優子・法政大学教授、伊藤真・伊藤塾塾長、福島瑞穂・社民党党首、市田忠義・共産党書記局長各氏のスピーチ、市原悦子さん朗読など

日比谷公会堂 集会後銀座パレード 4500人

北海道(3日); 新垣勉・弁護士講演「普天間基地問題の核心—沖縄の苦悩、私たちの暮らし、米軍再編を考える」、櫻井幹二・高教組委員長報告 470人

岩手(3日); 菊池紘・自由法曹団団長講演 86人

宮城(3日); 岡本厚・雑誌「世界」編集長講演「九条から見た沖縄・アジア・アメリカ」集会後デモ 800人

福島(3日); 川口創・イラク訴訟弁護団事務局長弁護士講演「イラク派兵訴訟から学ぶこと—名古屋高裁判決の意味—」100人

茨城(3日); 中山忠克・弁護士講演、他に「ヒバクシャと語ろう」、「茨城空港・百里基地を考える」、高校生ジャズ演奏、などのテント別企画あり 1000人

千葉(3日); 伊藤千尋・朝日新聞記者講演「憲法を活かす時代 世界から見た九条」、アンサンブルミルフィーユ演奏 600人

埼玉(8日)池田香代子・翻訳家講演「百人の村から憲法が見えた」、映画「地球のステージ『ありがとうの物語』」上映 550人 「憲法改悪を許さない1万人意見広告」を「埼玉新聞」5月3日付に掲載、6103人、1627団体賛同(個人500円、団体1000円)

群馬(3日); 小澤隆一・東京慈恵医科大学教授講演、大胡ぞうれっしゃ合唱団、親子合唱団ピッコロはるなによる合唱 1200人

神奈川(3日); 井端正幸・沖縄国際大学教授講演「憲法と安保50年—沖縄・神奈川・日本の未来—」、浅川寿一・弁護士報告「国民投票法施行を前にして」 350人

山梨(3日); 川村俊夫・中央憲法会議代表幹事講演「平和と暮らしに憲法をどう生かすか」 80人

長野・松本市(3日); 親里千津子・長野平和を語る女性の会会長講演「私と沖縄戦・憲法九条」、竹下岳・赤旗政治部記者講演「米軍基地の危険な実態 密約問題 安保問題を問う」、アルバ演奏、うたごえなど 160人

静岡(3日); 寝床屋道楽・落語「生き字引」、水島朝徳・早稲田大学教授講演「政権交代と憲法 いま問われていること」 200人

愛知(3日); 湯浅誠・反貧困ネットワーク事務局長講演『『すべり台社会』からの脱出の道』、伊勢崎賢治・東京外国語大学教授講演「平和はつくれるか?対テロ戦の展望」 2500人

岐阜(3日); 浅井基文・広島平和研究所所長講演、フラダンス 300人

三重(3日); 小松浩・立命館大学教授講演「国民民主権と議会制民主主義—民主党の手法を検証する」90人

京都(15日); 半田滋・東京新聞編集委員講演「迷走する普天間問題 日米安保を問う」、沖縄県民大会ビデオ紹介 100人

兵庫(3日); 内藤功・日本平和委員会代表理事講演「安保・自衛隊を切る—憲法を活かす努力」、梶本修史・兵庫原水協事務局長ニューヨークからNPT報告 400人

和歌山(9日); 小澤隆一・東京慈恵医科大学教授講演「憲法九条と日米安保50年」、NPT参加青年からの報告 200人

3日、JR和歌山駅前で宣伝署名行動 50人 267筆  
岡山(3日); 品川正治・経済同友会終身幹事講演 350人

広島(3日); 伊藤周平・鹿児島大学教授講演「ほんとうの福祉とは?—憲法から現政権の福祉政策を問う」、憲法ミュージカル「チェンジイズビューティフル—子どもたちの幸せ みんなの幸せ—」 600人

島根(3日); 松谷みよ子・絵本作家九条の会代表講演「今、何を語りつぐべきか」 350人

山口(3日); 有田謙司・専修大学教授講演「仕事のないのはいけん(違憲)?人間らしく働くということ」、北浦四人衆ライブ「うたう憲法」

香川(3日); 本澤二郎・政治評論家講演 250人

高知(8日); 石川康宏・神戸女学院大学教授講演「激動の世界と日本の進路—平和・核・安保—」、NPT参加学生の報告 200人